

POWER EGG3.0 Ver3.5c

データインポートツール 利用マニュアル

はじめに

本書では、データインポートツールについて説明します。



データインポートツールは、CSV ファイルから掲示板、電子会議室、スケジュール、施設予約、ファイル管理の各機能のデータの取り込みを行うツールです。

各機能の詳細については、ユーザーズマニュアルおよび管理者マニュアルを参照してください。

表記について

表記	説明
	必須項目を指します。
	参考情報を指します。
	項目に対する補足を指します。
	注意事項を指します。

目次

第 1 章 データインポートツール	1
1.1 インポートツールの設定	2
1.2 CSV ファイルのレイアウト	7
1.2.1 掲示板データ CSV レイアウト	8
1.2.2 電子会議室データ CSV レイアウト	10
1.2.3 スケジュールデータ CSV レイアウト	11
1.2.4 施設予約データ CSV レイアウト	13
1.2.5 ファイル管理データ CSV レイアウト	14
1.3 CSV ファイル取り込みの実行	15
1.3.1 データインポートツールにて取り込む	16
 インポートツールを起動する	16
 CSV ファイルを取り込む	17
1.3.2 バッチ処理にて取り込む	21

第 1 章 データインポートツール

データインポートツールは、CSV ファイルから掲示板、スケジュール、施設予約、ファイル管理の各機能のデータの取り込みを行うツールです。

データインポートツールにて取込めるデータの種類の制限があります。また、データ種類によって、実行できる機能の差があります。詳細は以下を参照してください。

(1) データインポートツールの動作環境

Java Runtime Environment(JRE) 1.8 がインストールされている Windows 環境

(2) 取込み可能なデータ

セットアップ可能なデータは以下のとおりです。

対象機能	説明
掲示板	作成済みの掲示板に対して、掲示情報を取込みます。 取込みは掲示板単位で行います。
電子会議室	作成済みの電子会議室に対して、投稿・返信情報を取込みます。 取込みは電子会議室単位で行います。
スケジュール	社員(職員)のスケジュールを取込みます。
施設予約	会議室・備品の予約情報を取込みます。 取込みは、対象施設毎に行います。
ファイル管理	ファイル管理に登録されるファイル情報を取込みます。 取込みは、フォルダ単位に行います。

データインポートツールによる取り込みは新規登録のみです。登録済みのデータの変更や削除は行えません。また、取り込み可能な項目は CSV レイアウト内の項目のみとなります。取り込み可能な項目は、CSV レイアウトを参照してください。

(3) セットアップ実行時の注意事項

インポート処理は、以下の理由により運用時間帯を避けて実行してください。

- 大量のデータ更新を伴い、サーバの負荷があがる可能性があります。

そのほか、インポートを行う機能毎に留意事項が異なります。各機能の CSV レイアウトの説明を参照してください。

(4) 取り込み処理の流れ

取込(インポート)時の処理の流れを示します。

手順	作業名	説明
1	取込先データベースの設定 *	取込先となる当システムのデータベースの設定を行います。「1.1 インポートツールの設定」を参照してください。
2	取込みデータ(CSV データ)の準備 *	取込み対象の機能ごとに規定のフォーマット(レイアウト)で CSV データを準備してください。 CSV ファイルの詳細については、「1.2 CSV ファイルのレイアウト」を参照してください。
3	取込み処理の実行 *	1.で作成した CSV ファイルの取り込み処理を実行します。 「1.3 CSV ファイル取り込みの実行」を参照してください。

1.1 インポートツールの設定

インポートツールを利用する端末には、事前に Java がインストールされている必要があります。
インポートツールは、Web サーバの所定のフォルダから実行する端末にコピーして、インストールします。
また、インポートツールを実行する前に、取込み先データベースの接続設定を行う必要があります。

(1) Java のインストール


インポートツールを実行する端末には、Java Runtime Environment (JRE) 1.8 のインストールが必要です。
Oracle 社が提供する Java8、オープンソースソフトウェアである Eclipse Temurin (OpenJDK) 8 のいずれかを利用してください。

■Oracle Java8 を利用する場合

利用するには Oracle 社からライセンス (Oracle Java SE Desktop Subscription) を購入していただく必要があります。購入手続き後、Oracle 社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。

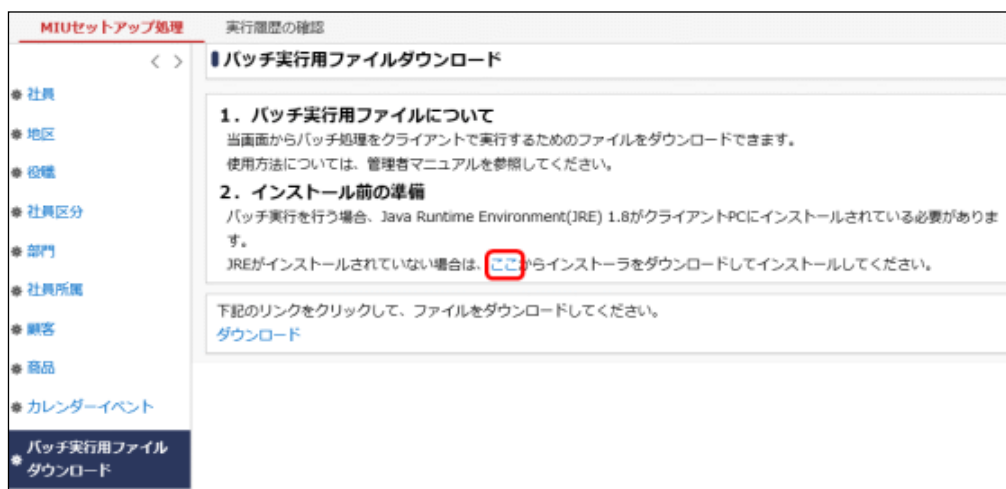
■Eclipse Temurin 8 を利用する場合

以下の手順で、当システム から Eclipse Temurin 8 の JRE のインストーラをダウンロードし、インストールしてください。

手順1:  > MIU:セットアップ処理をクリックします。

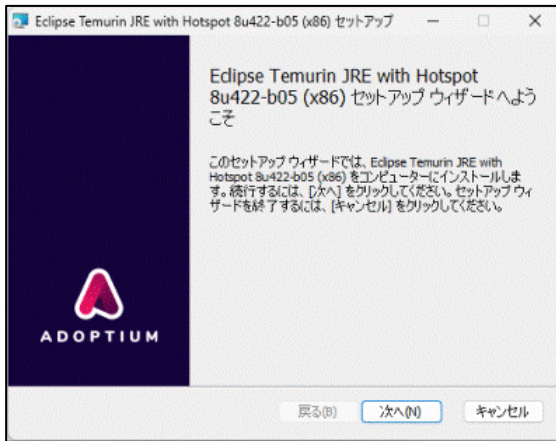
手順2: 左ペインの  **バッチ実行用ファイル
ダウンロード** をクリックします。

手順3: 「2. インストール前の準備」欄から JRE のインストーラをダウンロードします。



手順4: ダウンロードした JRE のインストーラファイルをダブルクリックして実行します。

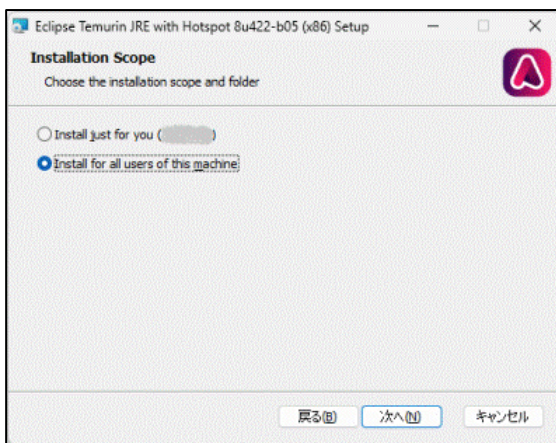
手順5: セットアップウィザードが起動します。[次へ]をクリックします。



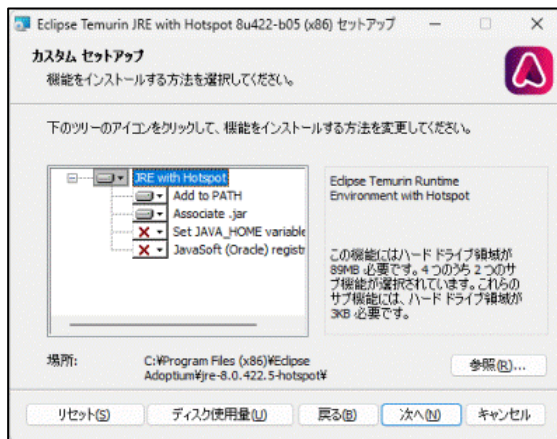
手順6: 使用許諾契約書の画面が表示されます。内容を読んで、同意する場合は、「使用許諾契約書に同意します」にチェックを入れて、「次へ」をクリックします。



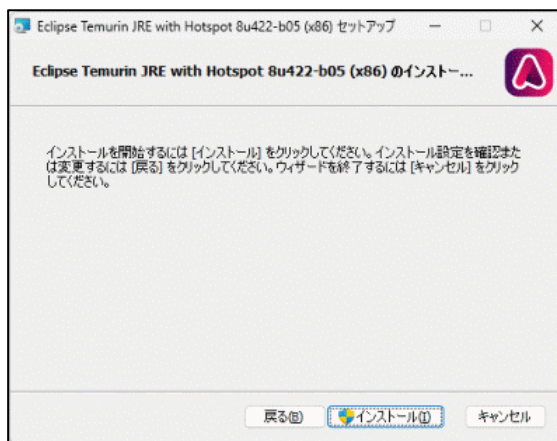
手順7: インストール範囲の画面が表示されます。ご利用環境にあわせて選択し、「次へ」をクリックします。



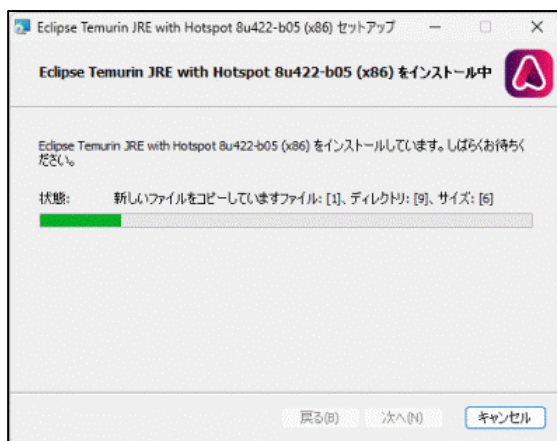
手順8: カスタムセットアップの画面が表示されます。そのまま[次へ]をクリックします。



手順9: インストール開始画面が表示されます。[インストール]ボタンをクリックします。



手順10: インストールが開始します。



手順11: セットアップウィザード完了画面が表示されると、インストールの完了になります。[完了]ボタンをクリックします。



OS の再起動は必要ありません。

(2) インポートツールのコピー・インストール

インポートツールは、Web サーバの <当システムのインストール先>¥PEWEB¥DataImportTool (デフォルト: C:¥PE4J¥PEWEB¥DataImportTool) フォルダに格納されています。実行する端末に DataImportTool フォルダごとコピーしてください。コピー先のディレクトリは、パスに空白が含まれない場所に行ってください。インストールは以上で終了です。

(3) 取込み先データベースの設定

インポートツールのインストール先ディレクトリの conf ディレクトリにある、pe4j-csv-import.properties ファイルをテキストエディタで開き、以下のプロパティを設定してください。

プロパティ名	設定内容
javax.persistence.jdbc.url	取込み先となる当システムのデータベースの JDBC の URL を設定します。 (例) サーバ名が dbserver、ポートが 27500、データベース名が pe20db の場合 jdbc:postgresql://dbserver:27500/pe20db
javax.persistence.jdbc.user	当システムのデータベースのユーザ ID を設定します。
javax.persistence.jdbc.password	当システムのデータベースユーザのパスワードを設定します。

1.2 CSV ファイルのレイアウト

データインポートツールを使用して、セットアップするための取り込みデータを CSV 形式(カンマ区切り)で作成します。

各データに合わせたレイアウトで作成してください。また、各 CSV ファイルの 1 行目は見出し行として扱われず。

(1) 留意事項

CSV ファイルを作成する場合の共通の留意事項について記載します。

- CSV データのレイアウトは、当システムの規定に従ってください。
- CSV ファイルの文字コードは Shift-JIS または UTF-8 で作成してください。取込み時に画面(バッチ処理の場合はパラメタ)で指定します。誤った文字コードを指定するとデータの文字化けが発生しますので、ご注意ください。
- データの区切りは「,」(半角カンマ)を指定してください。「,」(半角カンマ)はデータの区切りをあらわす記号となるため、データとして「,」(半角カンマ)を使用する場合は、項目をダブルクォーテーション(”)で囲む必要があります。
- 項目と項目の間は、入力値が無い場合も、「,」で区切ってください。ただし、最後の設定項目以降の「,」(半角カンマ)は省略可能です。
- 途中に空白行は含まないでください。
- 日付項目は、YYYYMMDD 形式(例:20080101)で入力してください。
- 時刻項目は、HHMM 形式(例:1500)で入力してください。
- Excel などの表計算ソフトで CSV ファイルを開くと、“0”で始まる数字だけで構成される文字列(例:0800)の場合、数値に変換され先頭の“0”が除外される場合があります。(“0800”が“800”という数値に変換されます。これは Excel などのアプリケーションの仕様です。)この場合は、テキストエディタを利用する等、ご注意ください。
- CSV データ内の日時は、日本時間を指定してください。

上記以外に、各機能に合わせた留意事項があります。合わせてご確認ください。

1.2.1 掲示板データ CSV レイアウト

掲示板データの CSV レイアウトについて説明します。

(1) 留意事項

- 取込み先となる掲示板は事前に登録しておく必要があります。掲示板の登録については、管理者マニュアルを参照してください。
- CSV ファイルは取込み先の掲示板毎に作成する必要があります。
- CSV ファイルの 1 行目は見出し行として扱われますので 1 行目は取り込まれません。
- CSV ファイル内に指定されている掲載者の取込み先の掲示板へのアクセス権限はチェックされません。
- 取り込まれる掲示データの掲載終了日、ナビビュー表示期間は取込み先の掲示板のデフォルト値によって決定されます。
- 掲載データの ID はデータの取り込まれた順となります。(CSV ファイルの 2 行目から順に ID が採番されます。)

(2) CSV レイアウト

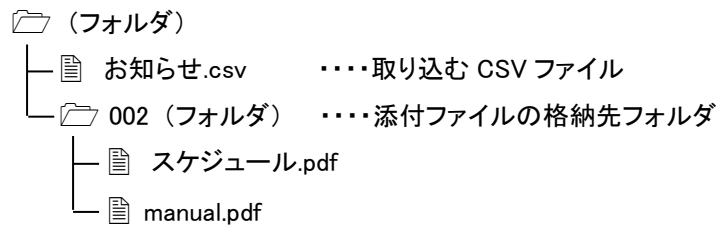
No	項目名	属性	桁数	説明
1	掲載日 *	日付	8 桁	掲示情報の掲載日を指定します。また、掲載開始日となります。 なお、時刻は指定できません。00:00 で取り込まれます。
2	掲載者ユーザ ID *	半角英数	20 桁以内	掲載者のログインユーザ ID を指定します。
3	掲載責任者名	文字	200 桁以内	掲載責任者として表示される文字列を指定します。指定しなかった場合、掲載者ユーザ ID のユーザが掲載責任者となります。 なお、掲載責任者は手入力のみです。社員(職員)は指定できません。
4	件名 *	文字	200 桁以内	掲示物の件名を指定します。
5	内容 *	文字		掲示物の本文を指定します。 改行がある場合は、 を設定してください。
6	添付ファイル	文字		CSV ファイルがあるディレクトリからの相対パスで添付ファイルを指定します。 以降の列には、カンマで区切って複数の添付ファイルを指定することができます。

(3) CSV 例

<お知らせ.csv>

```
掲載日,掲載者ユーザ ID,掲載責任者,件名,内容,添付ファイル
20101201,ooishi,,システム変更のお知らせ,2月1日より・・・<br/>以上,002¥スケジュール.pdf,002¥manual.pdf
20101210,sada,総務部,年末年始のお知らせ,今年度の・・・<br/><br/>12/29～1/3<br/>以上,
```

<上記 CSV ファイルおよびファイルのフォルダ構成>



1.2.2 電子会議室データ CSV レイアウト

電子会議室データの CSV レイアウトについて説明します。

(1) 留意事項

- 取込み先となる電子会議室は事前に登録しておく必要があります。電子会議室の登録については、管理者マニュアルを参照してください。
- CSV ファイルは取込み先の電子会議室毎に作成する必要があります。
- CSV ファイルの 1 行目は見出し行として扱われますので 1 行目は取り込まれません。
- CSV ファイル内に指定されている掲載者の取込み先の電子会議室へのアクセス権限はチェックされません。
- 投稿データの ID はデータの取り込まれた順となります。(CSV ファイルの 2 行目から順に ID が採番されます。)
- 投稿データと返信データは同一 CSV ファイルに存在する必要があります。すでに電子会議室に投稿されているデータに返信することはできません。

(2) CSV レイアウト

No	項目名	属性	桁数	説明
1	データ ID	文字		返信データがある場合は、必ず指定してください。 CSV 内で一意の番号を指定してください。
2	親データ ID	文字		返信データの場合、返信元のデータ ID を指定します。
3	投稿日時 *	日時		投稿した日時を指定します。”YYYYMMDD HH24MI“形式で指定してください。
4	投稿者ユーザ ID *	文字	20 桁以内	投稿者のユーザ ID を指定します。
5	件名 *	文字	200 桁以内	投稿時の件名を指定します。
6	内容 *	文字		投稿内容を指定します。 改行は、 で指定してください。
7	添付ファイル	文字		CSV ファイルがあるディレクトリからの相対パスで添付ファイルを指定します。 以降の列には、カンマで区切って複数の添付ファイルを指定することができます。

(3) CSV 例

<セキュリティ委員会会議室.csv>

データID,親データID,投稿日時,投稿者ユーザID,件名,内容,添付ファイル 1,,20111129 1350,ooishi,プロジェクト発足,運用定着活性に関する...,001¥運用方針.pdf,001¥参考資料.pdf 2,1,20111129 1413,ooki,Re:運用定着・運用...,今回リーダー... 各自で日ごろ... よろしくお 致します。,

<上記 CSV ファイルおよびファイルのフォルダ構成>

📁 (フォルダ)

├─ 📄 セキュリティ委員会会議室.csv取り込む CSV ファイル
└─ 📁 001 (フォルダ)添付ファイルの格納先フォルダ
 ├─ 📄 運用方針.pdf
 └─ 📄 参考資料.pdf

1.2.3 スケジュールデータ CSV レイアウト

スケジュールデータの CSV レイアウトについて説明します。

(1) 留意事項

- スケジュールは、CSV で指定されているユーザ ID のユーザ本人が登録したものとして取り込まれます。
- 開始日と終了日の間の日数が 1 年を超える期間スケジュールは登録できません。
- 予定区分名を指定する場合、事前にシステムに予定区分を登録しておく必要があります。
- 予定区分名を指定しない場合は、スケジュールの予定区分「(空白)」の使用区分を必ず”表示する”にしてください。
- バナースケジュールの取込みは出来ません。
- 指定したユーザ ID 本人のスケジュールの登録のみ可能です。他者への予約スケジュールは登録できません。
- 参加者の追加を許可するかどうかの指定は行えません。参加者の追加を許可しないスケジュールとして取り込まれます。

(2) CSV レイアウト

No	項目名	属性	桁数	説明
1	ユーザ ID *	半角 英数	20 桁 以内	スケジュール登録先ユーザのログイン ID を指定します。
2	開始日 *	日付	8 桁	YYYYMMDD 形式でスケジュールの開始日を指定します。
3	開始時刻	時刻	4 桁	HHMM 形式で開始時刻を指定します。 ※1 0000～2359 の間で指定してください。
4	終了日 *	日付	8 桁	YYYYMMDD 形式でスケジュールの終了日を指定します。
5	終了時刻	時刻	4 桁	HHMM 形式で開始時刻を指定します。 ※1 0001～2400 の間で指定してください。
6	予定区分名	文字	80 桁以 内	スケジュールの予定区分の名称を指定します。事前に予定区 分が登録されている必要があります。
7	件名 *	文字	200 桁 以内	スケジュールの件名を指定します。
8	内容	文字		スケジュールの内容を指定します。 改行は、 で指定してください。
9	場所	文字	2000 桁 以内	スケジュールの場所を指定します。
10	公開/非公開	文字	1 桁	スケジュールの公開/非公開を指定します。(1:公開、0:非公 開) 未指定の場合は公開として登録されます。
11	添付ファイル	文字		CSV ファイルがあるディレクトリからの相対パスで添付ファイル を指定します。 以降の列には、カンマで区切って複数の添付ファイルを指定 することができます。

※1:スケジュールの開始時刻・終了時刻の指定には以下の 4 つのパターンがあります。

	開始日	開始時刻	終了日	終了時刻	備考
単一スケジュール・時刻あり (2010/10/1 08:00～09:00)	20101001	0800	20101001	0900	開始時刻より終了時刻の方が 大きい必要があります。

	開始日	開始時刻	終了日	終了時刻	備考
単一スケジュール・時刻なし (2010/10/1)	20101001		20101001		開始日と終了日は同一である 必要があります。
単一スケジュール・開始時刻 のみ(2010/10/1 08:00)	20101001	0800	20101001		開始日と終了日は同一である 必要があります。
期間指定 (2010/10/1 15:00～ 2010/10/2 10:00)	20101001	1500	20101002	1000	開始時刻と終了時刻は省略で きません。

(3) CSV 例

ユーザ ID,開始日,開始時刻,終了日,終了時刻,予定区分,件名,内容,場所,公開区分,添付ファイル
ooishi,20101201,,20101201,,社内,資料作成,,,,,
ooki,20101201,1900,20101201,2200,,同期飲み会,,,0,

1.2.4 施設予約データ CSV レイアウト

施設予約データの CSV レイアウトについて説明します。

(1) 留意事項

- 取込み先となる施設はあらかじめ登録しておく必要があります。
- 開始日と終了日の間の日数が 1 年を超える期間予約は登録できません。
- 取込み対象施設に設定されている予約可能期間以降の施設予約は取り込めません。
- 予定区分名を指定する場合、事前にシステムに予定区分を登録しておく必要があります。
- 予定区分名を指定しない場合は、施設の予定区分「(空白)」の使用区分を必ず”表示する”にしてください。
- 取込み対象が会議室または重複予約が許可されていない備品の場合は、日時が重複する予約は登録できません。

(2) CSV レイアウト

No	項目名	属性	桁数	説明
1	ユーザ ID *	半角英数	20 桁以内	施設の予約者となるユーザのログイン ID を指定します。
2	開始日 *	日付	8 桁	YYYYMMDD 形式で予約の開始日を指定します。
3	開始時刻 *	時刻	4 桁	HHMI 形式で開始時刻を指定します。 0000～2359 の間で指定してください。
4	終了日 *	日付	8 桁	YYYYMMDD 形式で予約の終了日を指定します。
5	終了時刻 *	時刻	4 桁	HHMI 形式で開始時刻を指定します。 0001～2400 の間で指定してください。
6	予定区分名	文字	80 桁以内	施設予約の予定区分の名称を指定します。事前に予定区分が登録されている必要があります。
7	件名 *	文字	200 桁以内	件名を指定します。
8	コメント	文字		施設予約のコメントを指定します。 改行は、 で指定してください。
9	問合せ先	文字	80 桁	施設予約に関する問い合わせ先を指定します。

(3) CSV 例

ユーザ ID,開始日,開始時刻,終了日,終了時刻,予定区分,件名,コメント,問合せ先
ooki,20101201,1000,20101201,1200,社内会議,営業部会,,

1.2.5 ファイル管理データ CSV レイアウト

ファイル管理データの CSV レイアウトについて説明します。

(1) 留意事項

- 取込み対象となるファイル管理のフォルダは事前に作成しておく必要があります。
- 取込み時は、対象フォルダへのアクセス権はチェックされません。

(2) CSV レイアウト

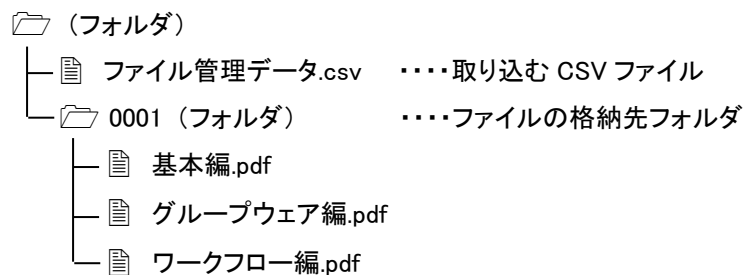
No	項目名	属性	桁数	説明
1	ユーザ ID *	半角英数	20 桁以内	ファイルの登録者となるユーザ ID を指定します。
2	タイトル *	文字	400 桁以内	ファイルのタイトルを指定します。
3	説明	文字		説明を指定します。 改行は で指定してください。
4	ファイル*	文字		登録するファイルを CSV ファイルが存在するディレクトリからの相対パスで指定します。 以降の列には、カンマで区切って複数のファイルを指定することができます。

(3) CSV 例

<ファイル管理データ.csv>

```
ユーザ ID,タイトル,説明,ファイル  
ooki,当システムの操作マニュアル,,0001¥基本編.pdf,0001¥グループウェア編.pdf,0001¥ワークフロー編.pdf
```

<上記 CSV ファイルおよびファイルのフォルダ構成>



1.3 CSV ファイル取り込みの実行

作成した CSV ファイルを取り込みます。

CSV ファイルを取り込む前に、インポート先の掲示板などの作成、CSV ファイルを作成しておく必要があります。

CSV データの取り込みには、以下の2種類の方法があります。

- データインポートツール(画面)から取り込む
- バッチ処理にて取り込む

1.3.1 データインポートツールにて取り込む

データインポートツールの画面から、取り込み対象・CSV ファイルを指定しインポートを実行します。

インポートツールを起動する

手順1: コマンドプロンプトを起動します。

手順2: カレントディレクトリをインポートツールをインストールしたディレクトリに移動します。

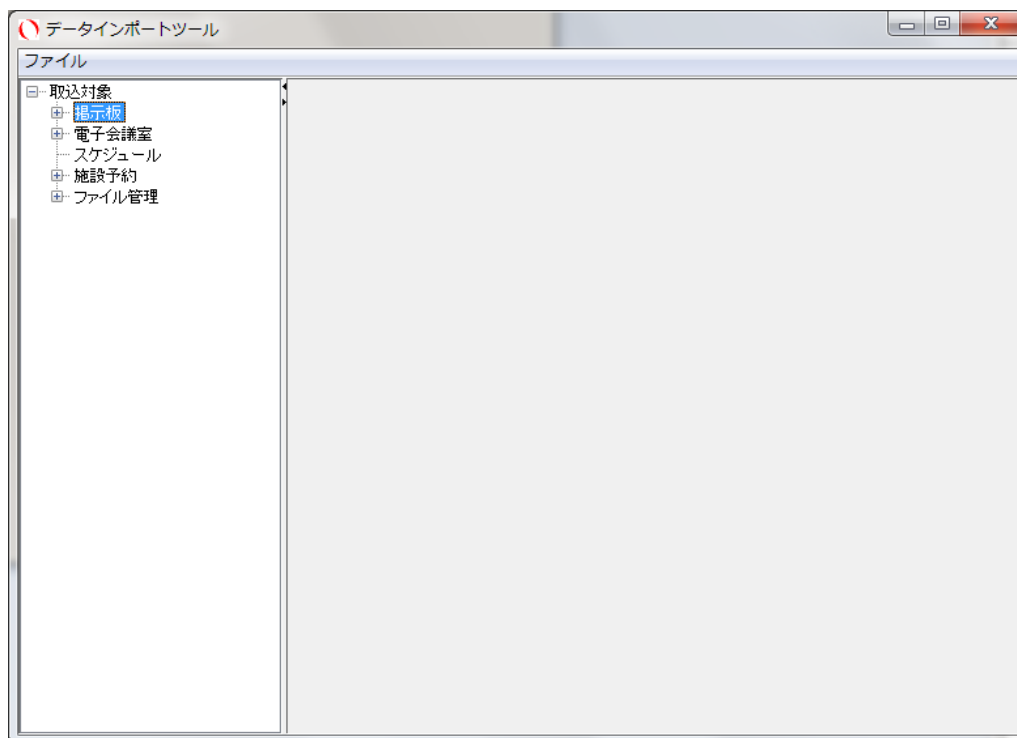
例) インポートツールのインストール先ディレクトリが「C:\¥PE4J¥DataImportTool」の場合

```
cd C:\¥pe4j¥DataImportTool
```

手順3: 以下のコマンドを実行します。

```
java -jar pe4j-csv-import.jar
```

データインポートツールが起動します。

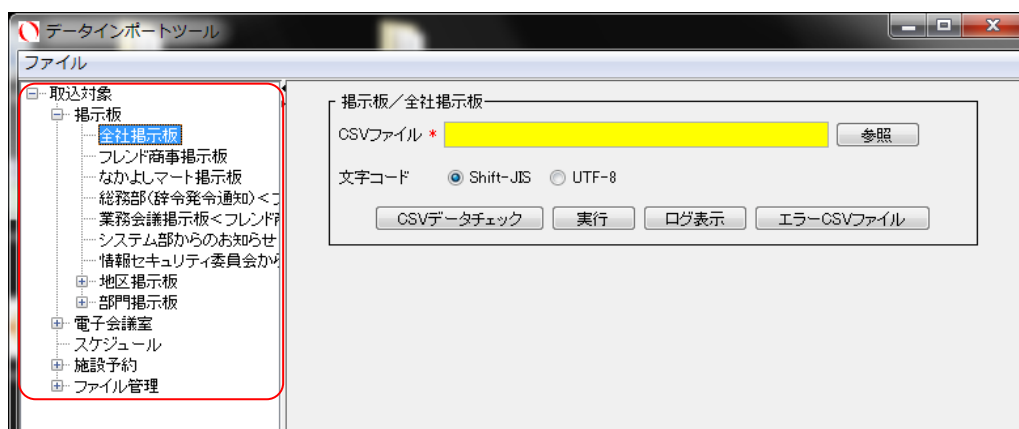


注意

コマンドプロンプトの画面は、データインポートツールを終了するまで閉じないでください。コマンドプロンプトを終了するとデータインポートツールも終了します。

CSV ファイルを取り込む

手順1: 左側のツリーからインポート対象を選択します。

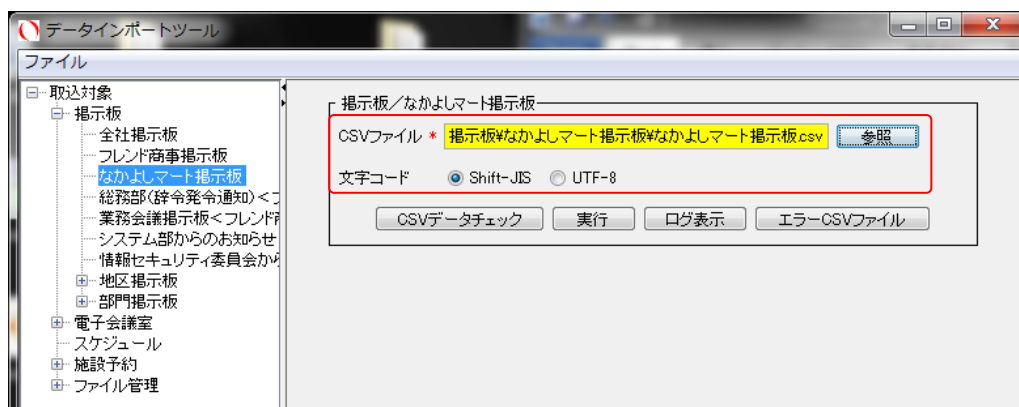


機能	選択対象
掲示板	対象の掲示板を選択します。掲示板メニューには取り込めません。
電子会議室	対象の電子会議室を選択します。電子会議室メニューには取り込めません。
スケジュール	“スケジュール”を選択します。
施設予約	対象の施設を選択します。
ファイル管理	対象のフォルダを選択します。

MEMO

掲示板、電子会議室、施設予約、ファイル管理の場合、事前に取り込み先の掲示板、施設、フォルダを作成しておく必要があります。データインポートツールを起動している状態で、掲示板等を追加した場合は、データインポートツールを起動し直してください。
 掲示板、電子会議室、施設の作成については管理者マニュアルを、フォルダの作成についてはユーザーズマニュアル ファイル管理編を参照してください。

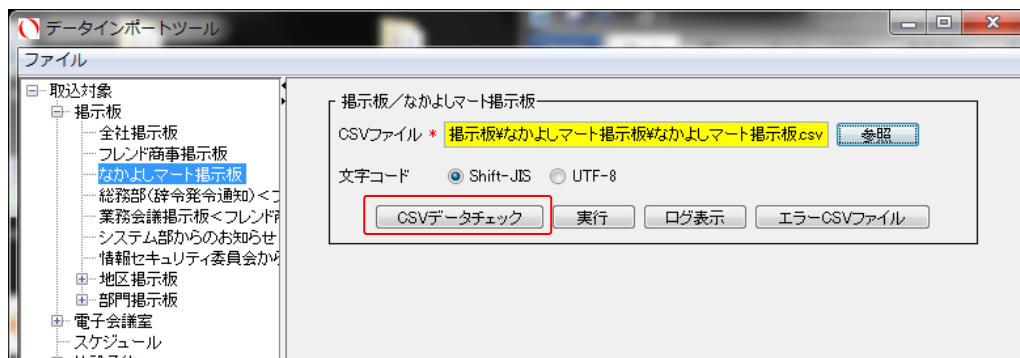
手順2: 取り込み指示画面の **参照** をクリックし、取り込む CSV ファイルを選択します。
 また、CSV ファイルの文字コードを選択します。



MEMO

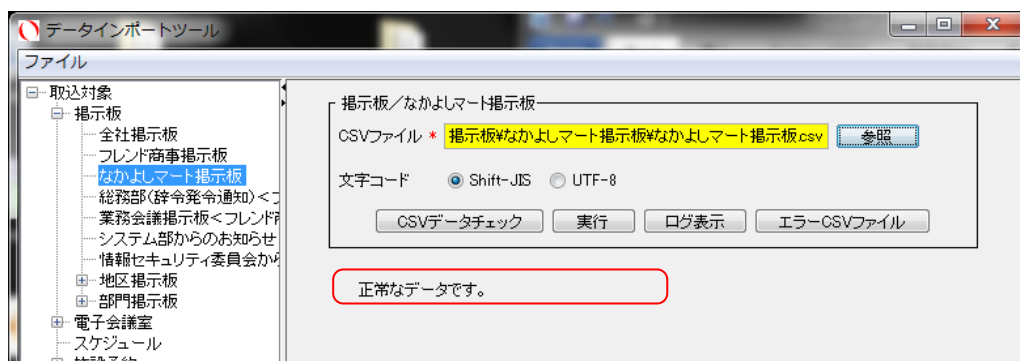
上図は掲示板を選択した時の画面ですが、電子会議室・スケジュール・施設・ファイル管理のフォルダを選択した場合も項目は同じです。

手順3: **CSVデータチェック** をクリックし、CSV データに不備が無いか確認します。エラー内容はログに記録されます。

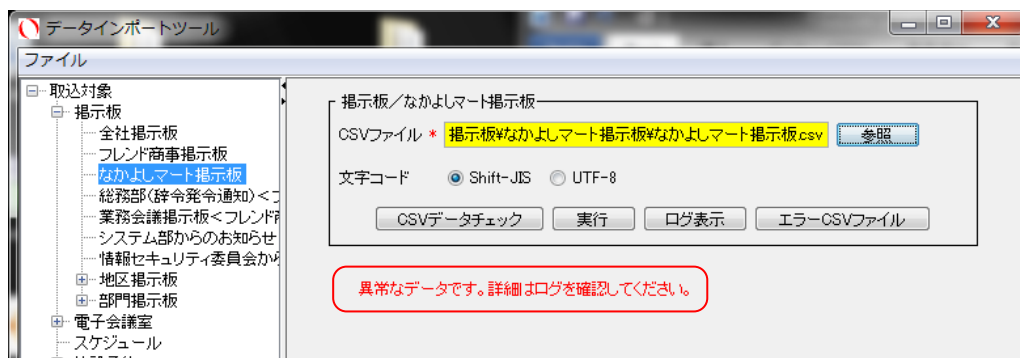


チェックが終わると、結果がメッセージで表示されます。

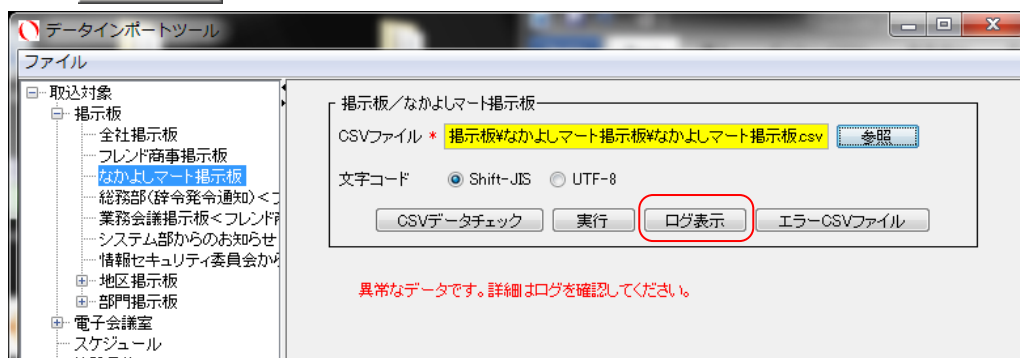
■ 正常な場合



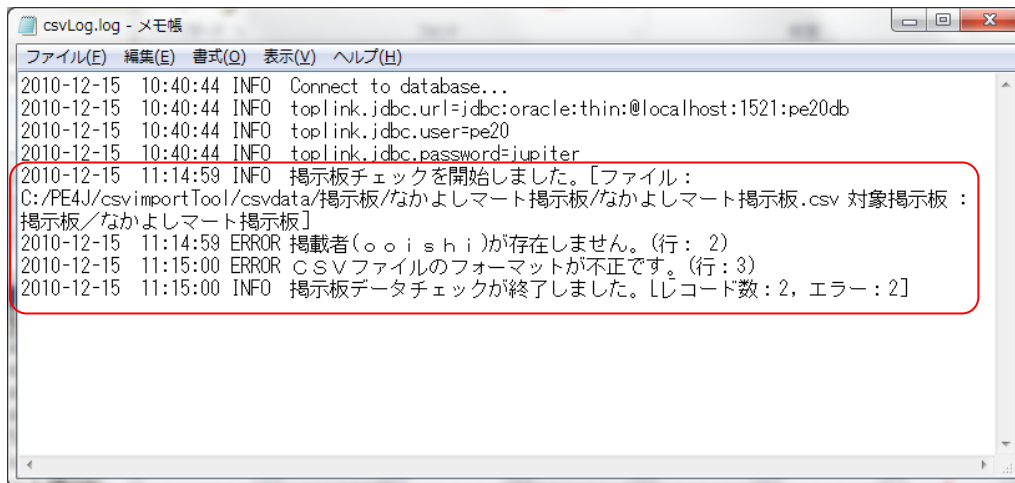
■ CSV に不備がある場合



手順4: CSV データチェックの結果が「異常なデータです。詳細はログを確認してください。」と表示された場合、**ログ表示** をクリックし、詳細を確認します。

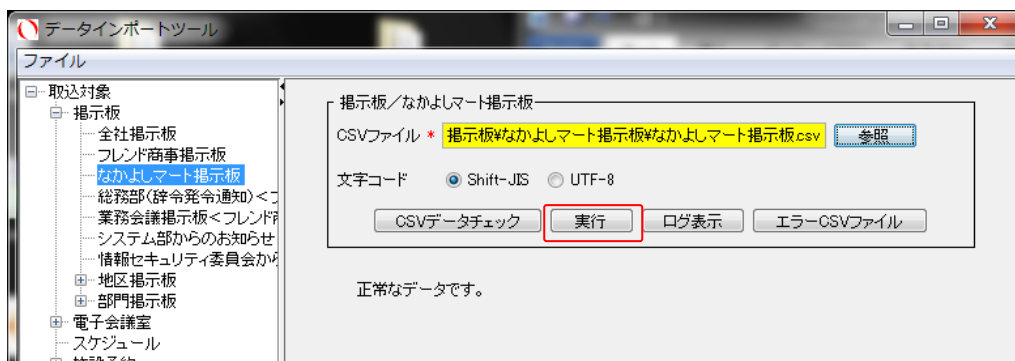


手順5: CSV データチェック及び取込み時のログが表示されます。ログの内容に合わせて CSV ファイルなどの修正を行ってください。CSV データチェックが正常終了するまで、手順3～5を繰り返します。

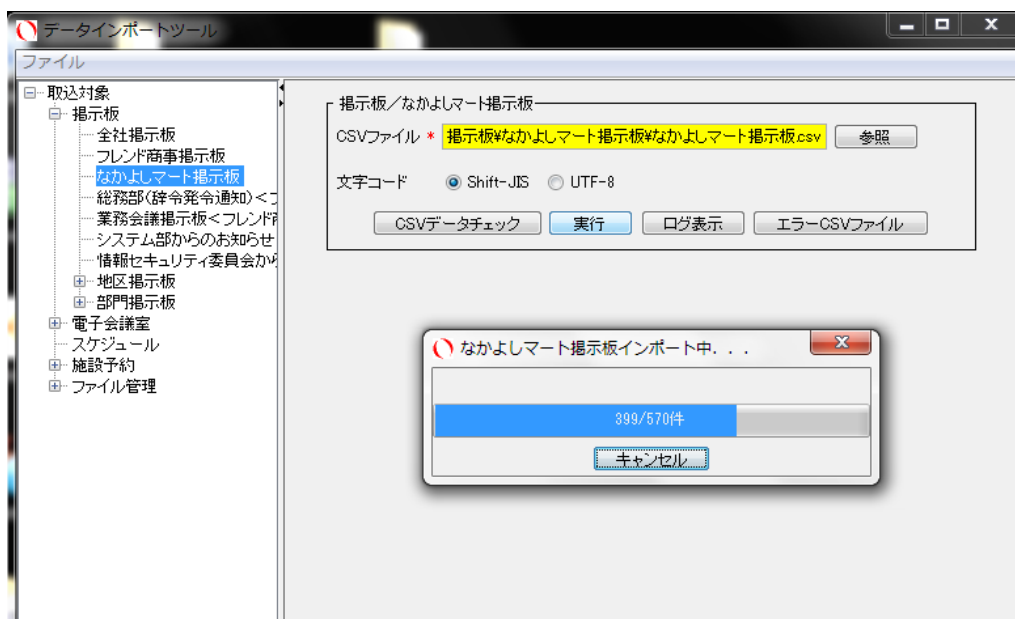


MEMO ログファイルの実体は、データインポートツールディレクトリの“csvLog.log”ファイルです。

手順6: CSV データチェックの結果が、「正常なデータです。」と表示されたら、**実行** をクリックし、CSV ファイルからデータを取込みます。



CSV ファイルのインポートが実行されます。

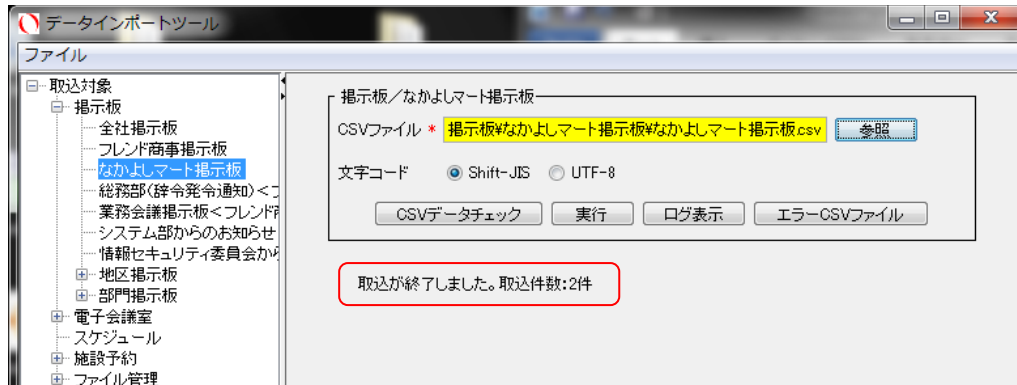


MEMO

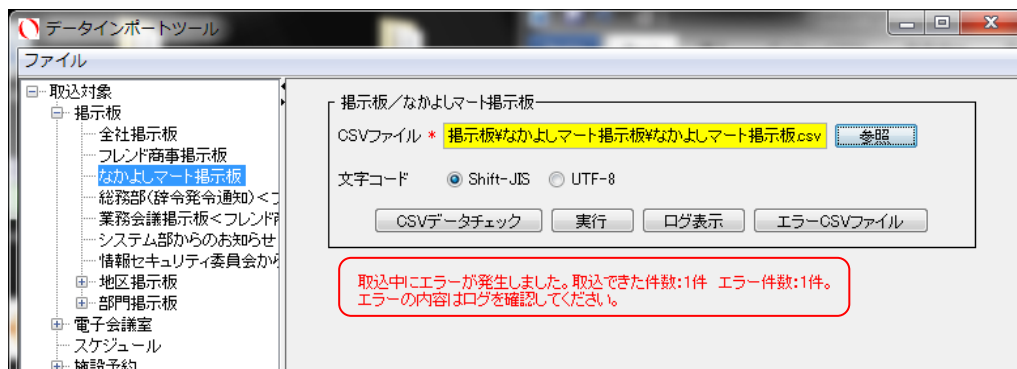
インポート中にデータインポートツールを終了させた場合や、キャンセルした場合、途中までのデータは取り込まれません。

処理が終了するとメッセージが表示されます。

■ 正常終了の場合



■ 不備のあるデータが含まれていた場合



実行時に CSV ファイル内に不備のあるデータが含まれていた場合、正常なデータのみ取り込まれます。**ログ表示** をクリックし、詳細を確認の上、CSV ファイルを修正し、手順3の CSV データチェックから処理を実行してください。



注意 不備のあるデータを再度取り込む際は、必ず正常に取り込まれたデータを除いた CSV ファイルを取り込んでください。そのまま取り込むと新規に取り込まれ、同一データが二重に登録されます。

エラーCSVファイル をクリックすると、取り込まれなかったデータのみ抽出された CSV ファイルを表示できます。このファイルを利用することをお勧めします。(エラー CSV ファイルの実体は、CSV ファイル格納先配下の error フォルダに格納されています。)

1.3.2 バッチ処理にて取り込む

バッチ処理にて、取り込み対象・CSV ファイルを指定しインポートを実行します。

なお、バッチ実行する際には、インポートツールのインストール先ディレクトリを作業ディレクトリとして実行してください。

バッチ処理で取り込む

手順1: バッチファイルを作成します。

以下を参考に、お客様の環境に合わせバッチファイルを作成してください。

例) インポートツールのインストール先ディレクトリが「C:\¥PE4J¥DataImportTool」の場合

```
java -jar C:\¥pe4j¥DataImportTool¥pe4j-csv-import.jar -batch <実行モード> -type <取込対象処理> -target <取込対象> -file <CSV ファイル> -fileEncoding <文字コード>
```

※上記は1行で記載します。

■ 指定するパラメタ

項目名	説明
実行モード *	以下のいずれかを指定します。 check :データのチェックを実行します。チェックのみ行い、インポートは実行しません。 import :データのインポートを実行します。 省略した場合、データインポートツールの画面が表示されます。
取込対象処理 *	取込対象の処理を選択します。 BBS :掲示板 FORUM :電子会議室 SCHEDULE :スケジュール RESOURCE :施設予約 FILE :ファイル管理
取込対象	取り込み先の名称を指定します。ルートから名称を“/”で区切り指定します。掲示板、電子会議室、施設予約、ファイル管理の場合は、必ず指定してください。施設の場合は、施設種別(会議室・備品)/施設管理区分/施設名と指定します。 <例> ・地区掲示板メニュー配下の東京地区掲示板の場合 地区掲示板/東京地区掲示板 ・施設管理分類:「東京本社」配下の「第一会議室」の場合 会議室/東京本社/第一会議室
CSV ファイル *	取り込みに使用する CSV ファイルの格納先およびファイル名をフルパスで指定してください。
文字コード	CSV ファイルの文字コードを Shift-JIS または UTF-8 で指定してください。未指定の場合は、Shift-JIS として取り込まれます。

<サンプル>

```
java -jar C:\¥pe4j¥DataImportTool¥pe4j-csv-import.jar -batch check -type BBS -target なかよしマート掲示板 -file C:\¥掲示板¥なかよしマート掲示板¥なかよしマート掲示板.csv -fileEncoding UTF-8
```

※上記は1行で記載します。

MEMO

事前に CSV に問題が無いかわり実行モード=check で実行し確認を行ってから、実行モード=import でインポート処理を実行することをお勧めします。

手順2: 作成したバッチファイルを実行します。

手順3: 実行結果を確認します。

データインポートツールディレクトリの“csvLog.log”ファイルを参照し、実行結果を確認してください。実行時に CSV ファイル内に不備のあるデータが含まれていた場合、正常なデータのみ取り込まれます。



注意

不備のあるデータを再度取り込む際は、必ず正常に取り込まれたデータを除いた CSV ファイルを取り込んでください。そのまま取り込むと新規に取り込まれ、同一データが二重に登録されます。取り込まれなかったデータのみ抽出された CSV ファイルが CSV ファイル格納先配下の error フォルダに格納されます。再度取り込む場合は、このファイルを利用することをお勧めします。



〒101-0051

東京都千代田区神田神保町 2-36-1 住友不動産千代田ファーストウイング

TEL:03-3514-6060 FAX : 03-3514-6069

URL : <https://www.d-circle.com/company/>